

2015年度 **春季** 国内体験学習プログラム

応募期間:
1月7日(木)
～1月15日(金)

「福島スタディツアー」

～福島の“今”を見、福島を生きる人々の“言葉”を聴き、そして“自分”を見つめる～

福島県は、巨大地震と津波、原発事故という人類史上初の複合災害に直面し、想像を絶する甚大な被害を受けました。そして、今なお、約10万人の福島県民が、県内外で避難生活を強いられています。

福島は『フクシマ』と語られ、そのイメージが独り歩きしている感があります。私たちは、福島県の何を知っているのでしょうか？ ぜひ、このスタディツアーで、実際に福島に行ってみて、自分の五感をフルに使って“今”を見、そこに生きる人々の言葉を受け止め、自分自身の問題として、福島について考えてみませんか？

企画教員 筒井のり子(社会学部 教授)

訪問地(予定) 福島県 (福島市・南相馬市・飯館村・本宮市・郡山市)

期 間 2016年2月22日(月)～25日(木) 3泊4日



龍谷大学ボランティア・NPO 活動センター

深草キャンパス 9号館 1階【学友会館】
(月～金 8:45～17:15)

TEL:075-645-2047/FAX:075-645-2064

瀬田キャンパス 青志館横
(月～金 9:00～17:30)

TEL:077-544-7252/FAX:077-544-7261

Mail: ryuvnc@ad.ryukoku.ac.jp

募集説明会日程

	深草キャンパス	瀬田キャンパス	大宮キャンパス
日	1月8日(金)	1月7日(木)	1月13日(水)
時	21号館203教室 12:30~13:00	1月12日(火)	12:30~13:00
場	1月14日(木)	12:50~13:20	西糺102 教室
所	12:30~13:00 21号館101 教室	2号館102 教室	

参加希望者は上記説明会のいずれかに参加必須です。

1. 趣旨

国内体験学習プログラムは、学生が、該当地域の地域住民やNPO／NGOとの交流を通じて、国内におけるその地域の抱える問題に触れるとともに、ボランティア等の体験学習を行うことにより、より深く社会の問題について考え、その問題解決に向けて自身の問題として考えるきっかけを作ることを目的としています。

2. プログラム内容（プログラムは予定です。多少の変更はあり）

2/22 (月)	朝：深草キャンパスを出発し福島県へ【バス】 夕方：18時過ぎに福島県到着 ★ユースゲストハウスATOMA（泊） 夜：夕食後、NPO法人うつくしまブランチ（福島のまちを創造するための活動をしている）の皆さんと交流会 
2/23 (火)	午前：阿部農園（除染モデル事業を行っている農園）訪問 飯館村訪問 午後：南相馬市社会福祉協議会を訪問 南相馬市の沿岸部（津波被害が甚大）視察 ★農家民宿 いちばん星（泊） 夜：ふりかえり 夕食後、南相馬市社協の皆さんと交流会 
2/24 (水)	午前：デイさぽーと ピーナッツ（南相馬市で重度障がい者支援事業を行っている。この事業所が避難できなかった重度障がい者を支える拠点となった）訪問 国道6号線（沿岸部）を南下。Jビレッジ（原発事故収束作業のためのスタッフの拠点になっているところ）経由で本宮市に移動 午後：本宮市にある浪江町住民の仮設住宅を訪問 ★郡山温泉（泊） 夜：ふりかえり 
2/25 (木)	午前：はみんぐBird（震災後、避難経験をして福島に戻ってきたママたちで作ったサークル）の活動見学 京都に向けて出発【バス】 

3. 募集人数及び参加資格

- ①合計 15 名
- ②本学に在学する学部生
1～4年
短期大学部生1～2年

※応募者多数の場合、学部1～3年生、短期大学部1回生が優先となります。

- ③2/5(金)に瀬田で開催する参加者説明会に参加できる学生

4. 参加費

20,000円

※移動費、宿泊費、食費(一部)、保険代込

5. 応募方法

応募期間【1月7日(木)～1月15日(金)】内に、国内体験学習プログラム願書に必要事項を記入して提出

詳しくは、募集説明会で説明します